

和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	総合演習Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0030		科目区分	専門 / 選択			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	環境都市工学科		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	米田著 土木職公務員試験 専門問題と解答 (選択科目編) 第2版、大学教育出版						
担当教員	小池 信昭,中本 純次,辻原 治,伊勢 昇,林 和幸						
到達目標							
「材料」「橋梁工学」「測量」「衛生工学」などに関する基礎知識を理解できる (C-1)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
演習問題	各項目における応用的な演習問題を解くことができる		各項目における基本的な演習問題を解くことができる		各項目における基本的な演習問題を解くことができない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	重要な基礎科目を理解した上で、環境都市工学の専門技術として、「環境工学」「衛生工学」「材料」橋梁工学」等に関する基礎知識を総合的に復習し、基本的問題の演習を行う。						
授業の進め方・方法	環境都市工学の基幹技術である「土木材料(鋼材)、土木材料(コンクリート)、橋梁工学、耐震工学、土木施工、都市計画、河川工学、海岸工学、衛生工学、環境工学」について、基礎知識を総合的に身につけるために入社試験、公務員試験等の専門試験問題の演習を行う。						
注意点	事前学習: 「次の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと」 事後学習: 「毎授業後には演習問題の復習を行うこと」						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション、建設一般			建設一般に関する演習問題を解くことができる	
		2週	都市計画 (クリティカルパスと線形計画法)			クリティカルパスと線形計画法に関する演習問題を解くことができる	
		3週	都市計画 (交通計画)			交通計画に関する演習問題を解くことができる	
		4週	都市計画 (都市計画)			都市計画に関する演習問題を解くことができる	
		5週	小テスト			第1週から第4週の項目の問題を解くことができる	
		6週	土木材料学			土木材料学に関する演習問題を解くことができる	
		7週	測量			測量に関する演習問題を解くことができる	
		8週	土木施工			土木施工に関する演習問題を解くことができる	
	2ndQ	9週	環境工学			環境工学に関する演習問題を解くことができる	
		10週	小テスト			第6週から第10週の項目の問題を解くことができる	
		11週	橋梁工学			橋梁工学に関する演習問題を解くことができる	
		12週	耐震工学			耐震工学に関する演習問題を解くことができる	
		13週	衛生工学			衛生工学に関する演習問題を解くことができる	
		14週	河川・港湾および海岸工学			河川・港湾および海岸工学に関する演習問題を解くことができる	
		15週	小テスト			第11週から第14週の項目の問題を解くことができる	
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0